

# （仮称）江別市子ども・子育て支援事業計画（素案）市民意見 募集結果について

（市民意見募集期間：平成27年1月5日から平成27年2月4日まで）

平成27年2月

江別市健康福祉部子育て支援室

## 市民意見募集の結果概要

### ■意見の募集結果

募集期間	平成27年1月5日（月） から 平成27年2月4日（水） まで
提出者数	10名
提出件数	18件

### ■意見の反映状況

区分	内 容	件 数
A	意見を受けて案に反映したもの	2
B	案に意見の趣旨が既に盛り込まれているものと考えられるもの	6
C	案に反映していないが、計画の展開にあたって参考等とするもの	10
D	案に取り入れなかったもの	
E	その他の意見	
合 計		18

■いただいたご意見の内容等（提出いただきましたご意見は、できるかぎり原文のとおり掲載しております。）

○（仮称）江別市子ども・子育て支援事業計画(素案)について

連番	意見の内容	市の考え方	区分
1	<p>・新制度になることで、幼稚園の預かり保育の金額が上がることがあるということについて。</p> <p>今後も共働きの夫婦が増え、預かり保育を利用する家庭が多くなることが予想されますが、金額が上がらないような施策を具体的にどのように考えているのか、教えてほしいです。</p>	<p>市としては、新制度に移行する幼稚園が、現行の預かり保育である一時預かり事業（幼稚園型）を実施する場合には、事業実施に対する補助を行う予定としていることから、幼稚園が新制度へ移行した場合においても利用料は同程度の負担となるものと考えております。</p> <p>なお、一時預かりに係る利用料につきましては、これまで各幼稚園が預かり保育として取り組んできた継続性の観点から、各幼稚園で定めていただく予定としています。</p>	B
2	<p>・江別市内での学童保育で、小学校から少し離れている場所にあるというのが少し不安に感じる。もう少し近くか、小学校内で行ってくれと安心。</p>	<p>来年度以降の放課後児童クラブにつきましては、平成27年4月より中央小学校区において新たに1か所開設され、さらに平成28年10月開校予定の江別第一小学校（江別小・江別第三小の統合校）において、放課後児童クラブを併設する予定です。</p> <p>今後の放課後児童クラブの整備につきましてはこの計画の第5章の量の見込み、提供体制に基づき、既存の放課後児童クラブにおいて定員超過が見込まれる学校区を中心として、学校施設の活用についても検討しながら、施設の整備等に取り組んでまいります。</p>	B
3	<p>・第4章 基本目標 基本施策1-1 子どもの教育・保育の充実</p> <p>(1) 幼児期の教育・保育の充実の項で「子ども・子育て支援</p>	<p>本計画では、子ども・子育てに関連する各施策の展開の方向性についてお示していますが、ご意見のありました、「幼児期の教育・保育の充実」につきまして</p>	B

	<p>制度の下、既存の保育・教育資源を最大限活用しながら、多様な保育ニーズに対応していきます。」とあります。既存の保育・教育資源の一つに江別では私立幼稚園がありますが、この私立幼稚園に対する具体的な施策が書かれていません。札幌市の子育て支援策では、札幌市が市立幼稚園をかかえていることから、幼稚園に対する政策が公立、私立の幼稚園合わせて具体化されています。今後、基本施策の具体化を図るに当たっては、私立幼稚園との連携策や支援策を策定していただきたい。</p> <p>・幼稚園、保育園、認定こども園等、幼児期の教育、保育にあたる機関が行政から平等な支援、補助が受けられ施策が必要と考えます。現状は保育所は福祉施設なので莫大な公費が投入され、幼稚園は教育施設なので、学校としての公費投入はありますが桁が保育所よりも全然小さいです。幼稚園は保護者からの料金収入で賄う構図が認定こども園になっても変わりません。特に、認定こども園になると就園奨励費がなくなり、幼稚園が認定こども園に移行するメリットがありません。こうした幼保間の格差是正を今後作成される具体策で改善していただきたいと思えます。</p>	<p>は、その充実のため、保育園・認定こども園、及び幼稚園などの各資源を最大限活用することとしております。</p> <p>特に幼稚園については、計画において、「共働き世帯の利用意向が一定数あることから、預かり保育の充実や一時預かり事業（幼稚園型）の実施を進めるなど、多様な教育ニーズに対応を進めていく」こととしております。</p> <p>0歳児から受け入れる保育園に対する保育所運営委託費と、3歳児から受け入れる幼稚園に対する北海道の私学助成の差は、それぞれの施設の違いによるものであり、より低年齢児を保育する施設の給付単価が高いことによるものであります。</p> <p>保育料については、認定こども園に限らず、幼稚園においては、新制度に移行した場合、幼稚園就園奨励費補助ではなく、所得に応じた応能負担となりますが、新制度移行後の平成27年度の保育料については、移行前とほぼ同水準となるよう、利用者負担の軽減を図ることとしております。</p> <p>また、新制度に移行しない幼稚園につきましても、これまで同様に、私立学校教育の振興のための私学助成及び利用者の負担軽減を図るための幼稚園就園奨励費等の補助を継続いたします。</p>	C
4	・放課後児童クラブについて	現在当市の放課後児童クラブにつきましては、市が	C

	<p>利用料金の統一、低額にし、数回等でも、必要な時に安心して預けられる場所を確保してほしい。地域により差があると感じます。</p> <p>・ 児童手当等、各家庭への現金支給ではなく、直接子ども達に還元される様な制度を希望。例えば給食費、教材費の減免等収入に関わらず、子どもの教育費への補助があると良い。又は現在の収入制限の幅を広げてほしい。</p> <p>・ 認定こども園の充実、規模に関わらず施設への補助金を増やし、保育内容の更なる充実や職員確保につなげ子どもに反映させてほしい。</p>	<p>開設するものが3施設、民間が開設するものが15施設あり、市は民間開設の放課後児童クラブが安定した運営を図り、更には利用者負担軽減のため各団体に補助金を交付しております。保育料は各団体がその施設事情に応じて独自の方針を持ちながら設定しておりますが、放課後児童クラブ間の保育料の格差につきましては、引き続き平準化に向け開設者に要請するとともに、より利用しやすい料金設定となるよう開設者と協議してまいります。</p> <p>子どもの教育費への補助につきましては、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の一部の援助を行う就学援助制度があり、学用品費、給食費などを支給しております。</p> <p>新制度においては、保育士等の職員の給与改善、職員配置基準を上回る場合の給付費の加算など、各施設に支払われる運営費相当額は一定程度増える制度となっており、教育・保育内容の質の向上が図られるものと考えています。</p>	<p>C</p> <p>C</p>
<p>5</p>	<p>・ 認定こども園の普及を図るとあるが、その利用する保育料が高くなるのであれば入所を考えて、認定こども園ではない園を選ぶのでそうすると認定こども園が普及されなくなるのではないかと思うので、そのための親や施設への助成を手厚くするべきではないか。</p>	<p>認定こども園は、幼稚園と保育園の機能を併せもつ施設であり、特に3歳以上の子どもにとっては、保護者の就労状況に関わらず利用を継続できる施設です。</p> <p>新制度に移行する施設の保育料は、認定こども園、幼稚園、保育園などの施設の類型に関係なく、認定区分（1号認定・2号認定・3号認定）と世帯の所得の状況に応じて国が定める額を上限に市が定めます。</p>	<p>B</p>

	<p>・ 幼児期の時は幼稚園などの預かり保育があり、働きやすい環境にあると思うが、小学校になると市で行っている放課後児童クラブが少なすぎて利用しずらく、働きにくい環境になるので学童保育を増やし学校帰りに行けるようになると良い。</p>	<p>そして、市が定める保育料については、所得状況に配慮し、利用者の負担軽減を図るため、市独自に保育料の軽減を図っているところです。</p> <p>来年度以降の放課後児童クラブにつきましては、平成27年4月より中央小学校区において新たに1か所開設され、さらに平成28年10月開校予定の江別第一小学校（江別小・江別第三小の統合校）において、放課後児童クラブを併設する予定です。</p> <p>今後の放課後児童クラブの整備につきましてはこの計画の第5章の量の見込み、提供体制に基づき、既存の放課後児童クラブにおいて定員超過が見込まれる学校区を中心として、学校施設の活用についても検討しながら、施設の整備等に取り組んでまいります。</p>	B
6	<p>・ 札幌から一昨年引越しをしてきましたが 多々思う事あります。</p> <p>①乳幼児医療費助成 現在3歳になった息子がいます。風邪を引き夜間救急にいったところ、1分程度の診察で1000円以上料金がかかりました。今 未就園児の週に一度幼稚園にいらっていますが春からは年少にはいります。</p> <p>これからもっと幼稚園で色々な菌をもらい何度も病院に行くことになると思います。人生で一番風邪をひくといわれている 小学就学前の年齢。</p> <p>札幌では一度で500円程度しかかからないのに江別はこういう制度になっていることに驚きました。早急にでも札幌</p>	<p>江別市における乳幼児等医療費助成制度につきましては、子育て家庭の医療費の負担の軽減を図り、あわせて乳幼児等の健康を増進し、安心して暮らせるようにすることを目的に北海道との共同事業として実施しております。</p> <p>当市の助成内容は、0歳から小学校就学前の児童は「通院」と「入院」に、小学生は「入院」と「指定訪問看護」に要する医療費が対象となりますが、年齢や世帯の住民税の課税状況により、自己負担額が異なります。</p>	C

<p>と同じように助成していただきたいです！札幌のママさんと交流されると私のように不満を思っている江別のママさんたちはたくさんいると思います。</p> <p>②ゴミ代 オムツをすてると燃えるゴミが、ものすごい量が増えます。札幌にいたころは ビニール、プラスチックは 無料資源として毎週だせました。江別にきてからはそれも 燃えるゴミに分類され、ゴミが札幌にいたころの二倍。ゴミ袋代もかさみます。どうにかしてもらいたいです。</p> <p>③夜の3番通り 街灯周りの木々 ご近所の三番通り近辺が暗くなってくると街灯がつくので</p>	<p>自己負担額については、3歳未満児や住民税非課税世帯の方は、初診時一部負担金（医科 580 円・歯科 510 円）、それ以外の方は、通院については総医療費の1割（1ヶ月当りの限度額 12,000 円）、入院は初診時一部負担金（医科 580 円・歯科 510 円）となります。市では、経済的負担が重くなる入院については、平成24年10月から市独自事業として、3歳から小学校修了までの課税世帯の方でも初診時一部負担金で受診できるように拡大し実施しております。</p> <p>江別市では、資源物として無料で収集しているペットボトルと白色トレイ以外の、家庭から出るビニールやプラスチック類については、有料ごみ袋に入れて出させていただいております。</p> <p>また、おむつを使用する2歳未満の子育て世帯を対象にごみ袋の無償配付する事業を実施しているところです。</p> <p>ご意見にありますように、札幌市では容器包装プラスチックについては無料で収集していますが、現在無料の資源物品目を増やすことは、収集運搬体制や選別・梱包を行う施設の整備など新たな財政負担が生じるなど多くの課題がある事から、現時点では難しいものと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>3番通の街路灯につきましては、交差点ごとにほぼ等間隔で設置されており、通過交通等の夜間の交通安</p>	<p>C</p> <p>C</p>
--	--	-------------------

	<p>すが、道路の木々がのびて草草がしげって街頭の明かりをさえぎったりしてとても暗く不気味に感じます。活気もなく感じるし。防犯上も良くないと思います。例をだすとあいの里の街路樹はとても枝を短く手入れされていて夜も通りが明るかったので全然江別と違う！と感じました。</p> <p>これらのことを意見としてコメントさせていただきました。少しでも江別を住みやすくしていただきたいです。よろしくおねがいします。</p>	<p>全等の役割を担っております。また、中央分離帯部の街路樹につきましては、自然樹形の既存樹木であり、信号機、道路標識等に支障となる際は適宜剪定等を実施しており、今後も現地を確認しながら対応してまいりたいと考えております。</p>	
7	<p>今、在園中の子ども達の保育料など、園に納める金額がどの家庭においても今まで以上に上がらないように金額を設定すべき。</p>	<p>新制度に移行する施設の保育料は、認定こども園、幼稚園、保育園などの施設の類型に関係なく、認定区分（1号認定・2号認定・3号認定）と世帯の所得の状況に応じて国が定める額を上限に市が定めます。</p> <p>市が定める保育料については、所得状況に配慮し、利用者の負担軽減を図るため、市独自に保育料の軽減を図っているところです。</p>	B
8	<p>H21～H25までのデータが分かりやすく良い。フォントの大きさが見やすく良い。ほど良い余白があり良い。</p> <p>P7 表の縦罫線の幅が狭いので少々見にくい印象がある。表・グラフの題名がそれぞれにある方が見やすいのではないか。・資料住民調査ほかP54～の横棒グラフが見やすく良いが、②～⑥についてはもう少し文字を大きくしてもらえると見やすさが増すのではないか(①くらいの行間があると良い。P60、61、62 上段、63 も同様に)</p> <p>障がい児という書き方に共感できる(害という表記は好ましくない)。</p>	<p>ご意見をいただきました内容等を含め、計画を策定する際に、最終的にフォント、表や図など、全体のバランスを図りながら、できる限り見やすい表現となるように工夫したいと考えております。</p>	A



	<p>・課題の解決に向けて示してある例があと1つ、2つあると読み手側の考えがふくらむと思う。</p> <p>・P13 地域子育て支援拠点事業がどこにあるのかということがすぐ分かり、分かった上で利用者数を見られるよう、地図を追加記載されると良いのではないのでしょうか。</p> <p>P18 小学校別児童数にも上と同じ理由で地図を追加記載を希望します。子育て情報誌ホップステップえべつと重複している内容について整合性をとって下さい。尚、上記のP34の地図はとても役に立つのでこのまま素案えべつ安心子育てプラン(仮称)に挿入されても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>「課題の解決に向けて」については、第4章の総合的な施策の展開の中で、基本施策として示している内容の一部を例示させていただいていますが、いくつかの項目について、より詳しく説明を追加することいたします。</p> <p>計画書は、毎年改定するものではありませんので、子育て支援サービスを利用する際のサービス内容や施設などに関する詳細な情報に関しましては、ホップステップえべつ、ガイドブックやパンフレットの中で、より新しく、充実した情報を提供したいと考えております。</p>	<p>A</p> <p>C</p>
<p>9</p>	<p>江別市に生まれた子供たち全員が、両親が就労していないかに関わらず、質の高い保育と教育の両方を、各家庭の状況によって調整できる形で受けることができるようにすべきである。そのためには合わせて、認定こども園における質の高い保育や教育を永続的に担保できるような各施設への助成を充実させて頂きたいと思っております。また子育て家庭への経済的支援をについて国や道に求めるとありますが、子育てしやすい街～江別を目指すのであれば、江別市単独の費用も手厚くし、どの子育て家庭も制度や施設を安心して利用できるようにし、江別市だから！という感覚が市民に伝わらなければ意味がないと思っております。最後に、質の高い保育や教育とはどういうことか？という事も広く市民に</p>	<p>当計画案では、子どもの最善の利益が実現される社会をめざすことを基本とし、子どもの視点に立ち、子どもの生存と発達が保障されるよう、良質かつ適切な子ども・子育て支援を実施することとする子ども子育て支援法の趣旨の基づき、基本理念である「みんなで協力 子育て応援のまち・えべつ」の下、すべての子どもや子育て家庭を身近な地域で可能な限り支援し、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することにより、子どもとその親がいきいきと生活し、子育てが楽しいと感じられるまちを目指し、子どもは「江別に生まれ育ってよかった」、親は「江別で子育てして安心」と思えるまちを実現するため、家庭はも</p>	<p>C</p>

	<p>伝える必要があると思います。大人の都合に良い預けられる時間や保育士や教員の人数、目に見える設備の充実もちろん「質」の一つですが、それよりも大切なことは、江別の子どもをどんな子どもに育てたいのか？そのためにはどんな保育や教育、活動が質が高いといえるのか？ということだと思います。決して預ける大人の都合の良さが質の高さではないはずです。その事を市民に強く伝えることが本当の意味での子育て支援になると考えます。</p>	<p>とより、地域、企業、行政など、社会全体が協力・応援することで、江別市で子どもを生き育てることが喜びとなるまちを目指すこととしています。</p>	
10	<p>・学校教育の充実に関して 近年増えていると思われる不登校児童・生徒の活動の場として、週に1度、市内の1か所だけのスポット事業だけでは不足では。 子ども達が自力で毎日通え、不登校を克服した時に困らないよう、学習、登校日数のサポートも必要です。スポット事業が適応教室ほどの機能を備えているとは思えません。</p>	<p>不登校対策については、ご指摘のとおり、一層の充実を図る必要があると考えており、平成26年度は「スポットケア」の開催回数を週2回程度に増やして実施しているところです。今後も、開催日数や内容、実施場所などの検討を行いながら、不登校児童生徒への支援を進めてまいります。</p>	C